

経営比較分析表（平成29年度決算）

山形県 小国町

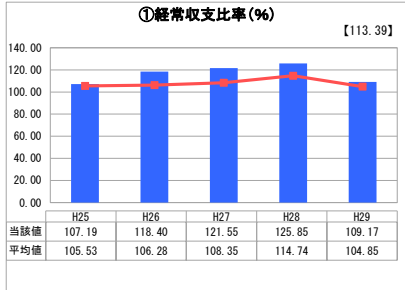
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A9	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	46.14	61.22	3.326	

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
7,779	737.56	10.55
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
4,702	6.92	679.48

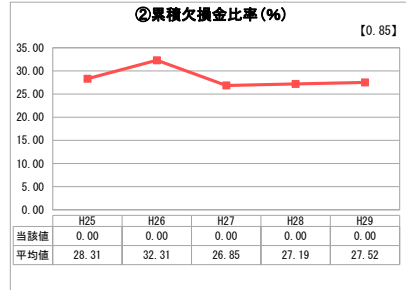
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

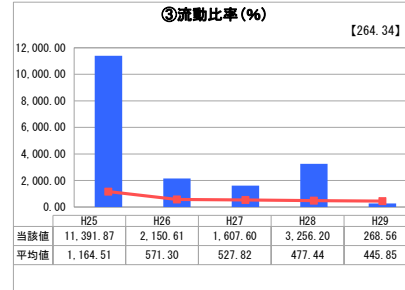
1. 経営の健全性・効率性



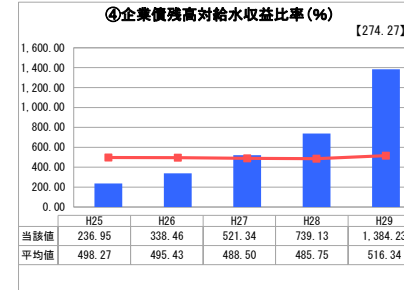
「経常損益」



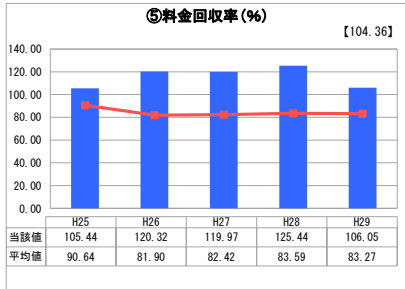
「累積欠損」



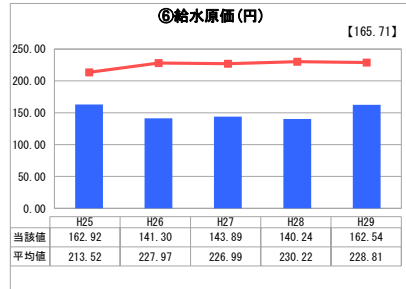
「支払能力」



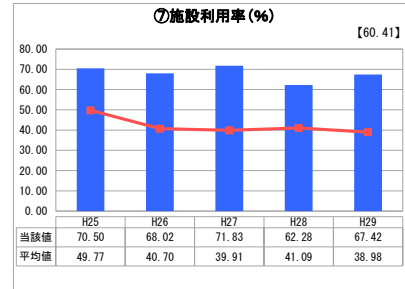
「債務残高」



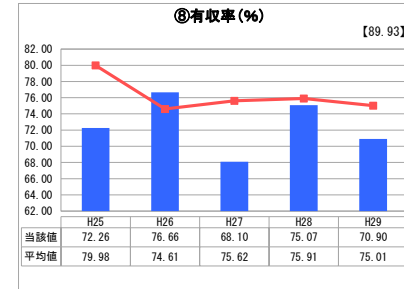
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

(収益の分析)
経常収支比率は前年度を下回り、料金回収率も低下したが、100%は超えている。有収率は年度ごとに変動があり、H29年度は冬期間の漏水等の影響により低下した。

(企業債残高)
針生新水源・配水池の整備により、大きく平均値を上回っている。平成30年度まで整備を予定していることから、長期的な給水収益の確保に向けた対応を要する。

(施設利用率の分析)
給水人口は大きく減少したものの、施設利用率は平均値を上回っている。

(経営の健全化・効率性の分析)
収益は安定確保されており、施設利用率も平均を上回り経営の健全化・効率性は図られている。しかし、新水源・配水池の整備により多額の企業債を借り入れたことから、将来的な安定給水、安定経営のため、料金改定を含めて更なる効率性の高い経営を検討していく必要がある。

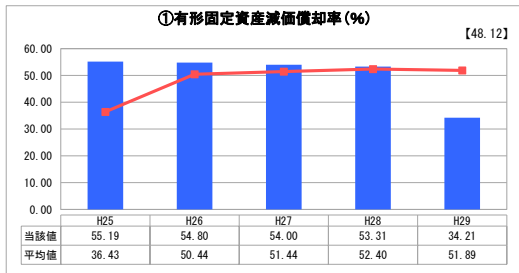
2. 老朽化の状況について

針生新水源・配水池の整備を優先的に実施したことにより、管路の更新が未実施となっており、管路経年化率が高い状況である。今後の経営状況を踏まえて計画的に管路入れ替えを実施していく予定である。

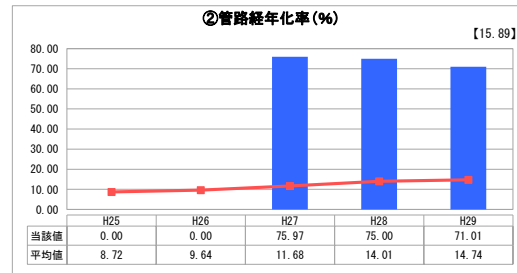
全体総括

平成29年度は健全な、効率的な経営となっているが、針生新水源・配水池の整備に伴う企業債の増加と減価償却が増加していくことから、料金回収率、有効率の向上及び経営努力によるコスト削減に努めるとともに料金改定を検討していく。

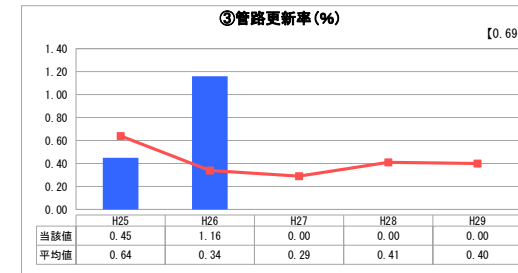
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の実績数を基に類似団体平均値を算出しています。